

横浜歴史サロン 2022 コバテル先生歴史講座

横浜の歴史を分かりやすく をモットーにお伝えします。

横浜と英国を合わせ鏡で 読む日本近代史



この歴史講座は全6回開催の予定です。全回受講されることで、幕末・明治期の日本とイギリスの関わりがよく分かります。単回のご参加も歓迎します。

- ・実施期間&回数：2022年中、場合によっては2023年始めまでにかけて2か月に1回を目途として、土か日の週末開催で、6回実施予定。
- ・各回 9:45~11:45 の時間帯で行います。
- ・会場は基本、**社会福祉センター**を予定。その他の場合でも、関内・桜木町近辺
- ・先々の会場の確保ができないため、日時・会場名をすべて記載できませんが、実施いたします。

コバテル(小林照夫)先生プロフィール：
横浜歴史サロン会員、関東学院大学名誉教授、社会学博士、関東学院大学文学部教授、同大学大学院文学研究科指導教授、その他多くの大学、研究機関にて講師等を歴任。日本港湾経済学会元会長。「コバテル」は学生がつけた愛称。

- 第1回 2月27日(日) ジャーディン・マセソン商会(英一番館)代表 ケズウィックと長州五傑
—彼の後押しでロンドン大学(UCL)に留学した五傑が描いた近代化像—
- 第2回 4月3日(日) お雇い外国人技師 ブラントン
—「日本の灯台の父」と言われた彼の活躍の舞台は「灯明台役所」—
- 第3回 月 日() ブラントンの英国版ウィキペディアに"Father of Japanese lighthouse"の記載が
—彼の本業は鉄道技師、灯台の技術は『ジキル博士とハイド氏』の著者ルイス・スティーブンソンの父トマスによる俄(にわか)仕込み—
- 第4回 月 日() 駐日英国公使オールコックのもう一つの顔は収集家
—彼の日本での収集品がロンドン万博で：英国でのジャパニズムの始まりに—
- 第5回 月 日() 近代水道発祥の地 横浜
—日本人がパーマーに託した英国の「緩速ろ過処理」水道とは—
- 第6回 月 日() 鉄道と日本の近代化
—モレルの鉄道建設による都市横浜の様相変化—

参加費：各回 500 円 定員：40 ~ 80 名 申込先着順 (定員は状況により変更の可能性あり)

- ★ 各回の開催日時・会場名等、決定次第 Web site「横浜歴史サロン」に掲載します。メールアドレスを登録されている方には、メールでお知らせします。
- ★ 申込方法：各回とも下記 Eメール宛に、お申込みください。(メールが届いた方は返信で申込み) Eメールが難しい方は電話か電話番号のショートメールでも可。

横浜好きですか?「横浜歴史サロン」は、横浜の歴史を語るネット上の「サロン」です。

企画：tamakikaku 企画・横浜歴史サロン 主催：ヨコハマ歴史茶論
Eメール：tamakikaku@kanto.me 携帯電話：090-1704-0862 (渡辺)

裏面もご覧ください。